

再評価

# 吉井川水系直轄総合水系環境整備事業

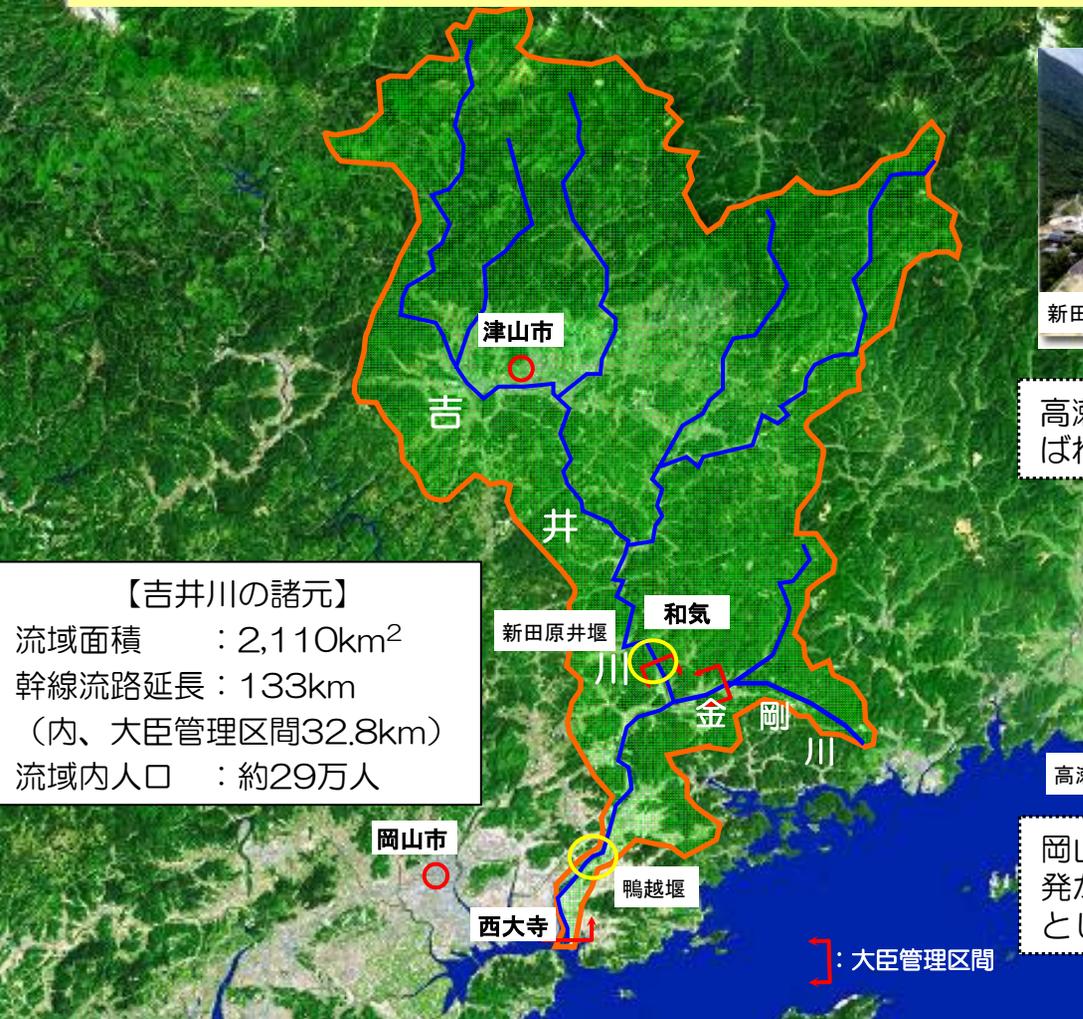


平成18年9月8日

国土交通省中国地方整備局

# 1. 流域の概要

- 吉井川は、岡山県の東部に位置し「東の大川」と呼ばれている。この水面を利用した高瀬舟などの舟運によって西大寺、和気、津山をはじめとする沿川で多くの湊町が栄えた。
- 吉井川の利水の大半は農業用水である。下流域においても90%近くが農業に用いられており、坂根堰、田原井堰など江戸時代に造られた井堰を礎としている。



## 【吉井川の諸元】

流域面積 : 2,110km<sup>2</sup>  
幹線流路延長 : 133km  
(内、大臣管理区間32.8km)  
流域内人口 : 約29万人

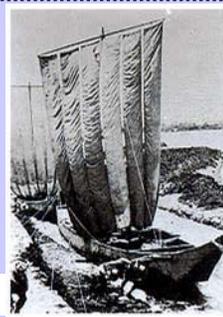


新田原井堰



鴨越堰

高瀬舟により津山まで吉井川を利用して塩などの物資が運ばれていた。最盛期には約500隻の船が往来していた。



高瀬舟



下流部

岡山市のベッドタウン化が進行し、北部では、工業団地の開発が進んでいる。また、緑豊かな自然があり、リゾート地として注目されている。

]: 大臣管理区間

## 2. 河川環境

- ・干潮域の干潟を利用して、人々が潮干狩りを行っている、この豊かな干潟は、シギ類やチドリ類の渡り鳥の中継地に、下流淡水域の水面はカモ類の越冬地になっており、ヨシ原はカヤネズミやオオヨシキリなどの生息場所になっている。
- ・浅瀬はアユの産卵場になっているほか、天然記念物であるアユモドキも生息している。
- ・吉井川の水質は年々改善され、水質基準で見ると熊山橋地点の水質はBOD1mg/L以下と、環境基準値を十分満足しており清澄な水質を保っている。



アユモドキ[ドジョウ科]  
 文化財保護法：天然記念物（国）  
 種の保存法：国内希少野生種  
 環境省：絶滅危惧IA類（CR）  
 岡山県：絶滅危惧種  
 <分布と生態>

琵琶湖淀川水系と岡山県下の数河川にのみ不連続に分布する日本固有種。河川の中・下流域の本流や用水路の岩や石垣の間などに生息する。



オオヨシキリ



アユの産卵場



河口部の干潟



確認生物種類数	種別	種類数
	魚類	67種
	エビ・カニ・貝類	29種
	底生生物	177種
	植物	674種
	鳥類	92種
	両生類	6種
	爬虫類	9種
	ほ乳類	9種
	陸上昆虫類	1,191種

河川水辺の国勢調査結果  
 (平成11~16年度)

# 3. 事業経緯・事業の必要性

## 3.1 吉井川水系河川空間管理計画

治水・利水機能と調和した河川環境の適正な保全と創造を図るため、河川管理者、沿川自治体、学識経験者等で構成する「吉井川河川環境管理協議会」を立ち上げ、平成元年3月「吉井川水系河川空間管理計画」を策定し、計画的に河川環境整備を実施している。

### 田園ブロック

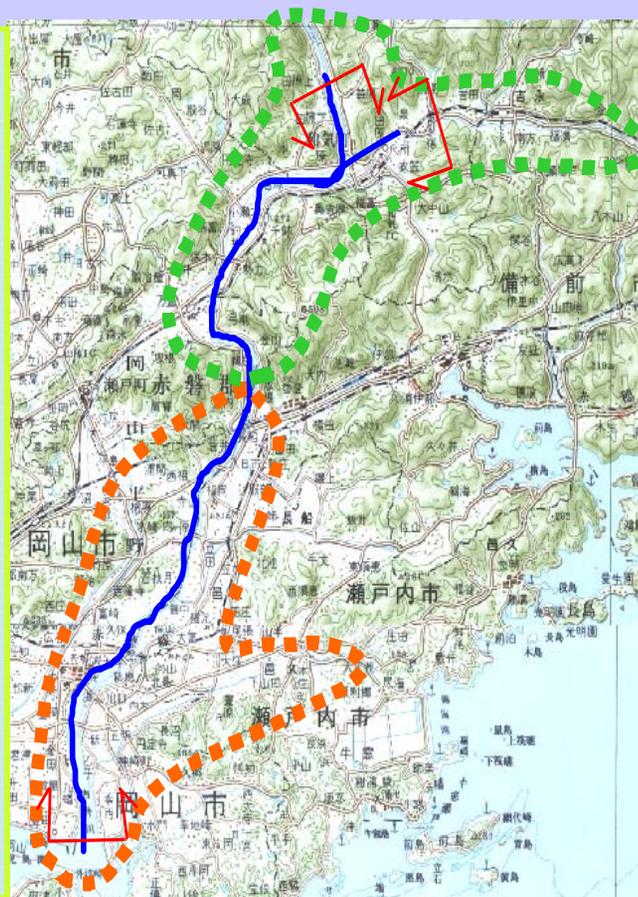
田園と山並みを背景に水との良好な河川景観を形成している地域である。

#### 【管理方針】

地域に密着したふるさとの川として、人々が自由に集いふれあえるよう管理する。



<<くまやま水辺の楽校>>

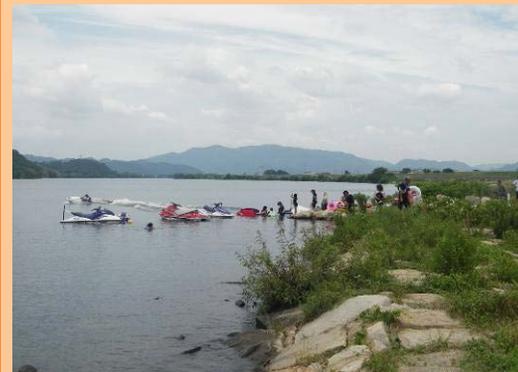


### 都市近郊ブロック

田園の広がる平野部をゆるやかに蛇行しながら流れ、ゆったりとした河川空間を有している。

#### 【管理方針】

都市近郊区間で、河川空間を活用し、スポーツやレクリエーションを楽しめるよう管理する。



<<水上スポーツ>>

## 3.2 関連計画等

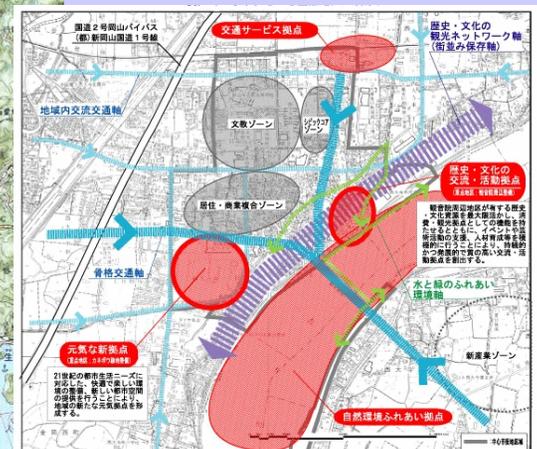
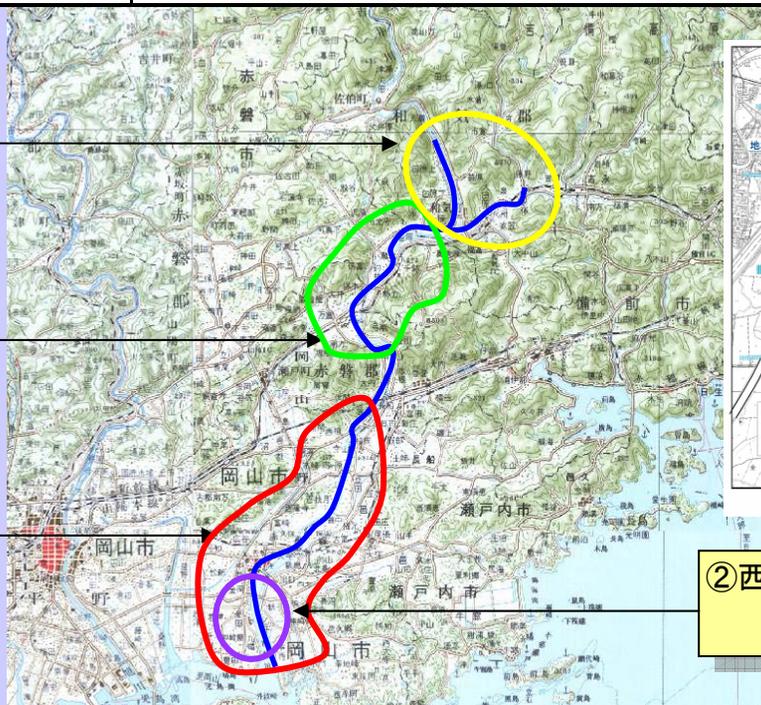
吉井川沿川の自治体では、吉井川を水と緑のふれあいの場としてまちづくりに活かす計画が策定されている。

関連計画一覧表			
関連計画		吉井川の位置付け	策定団体
①	緑の基本計画	水辺を軸とした緑化を図る	岡山市
②	西大寺地域中心市街地活性化基本計画	水と緑のふれあい環境軸として重点地区に指定されている	岡山市
③	新市建設計画	河川を住民共有の財産として、各地区で清流保全活動を推進するとともに自然生態系に配慮した水辺環境の保全・自然とのふれあいの場の整備を図る	赤磐市
④	新町建設計画	恵まれた自然環境を大切に、住民と行政が協働で地域の特性を活かしたまちづくりを図る	佐伯町・和気町合併協議会

④新町建設計画  
④新町建設計画  
(佐伯町・和気町合併協議会)

③新市建設計画  
③新市建設計画  
(赤磐市)

①緑の基本計画  
①緑の基本計画  
(岡山市)



②西大寺地域中心市街地活性化基本計画  
(岡山市)

### 3. 3吉井川の自然環境・河川利用に関する問題点

#### <都市近郊ブロック>

- ・市街地と川のアクセスが悪く、人々が川に近づきにくい。また、河川沿いの連続性が悪く、水辺へのアクセス向上と散策できる歩道等の整備が必要である。

#### <田園ブロック>

- ・水辺の楽校のような環境学習と地域のコミュニティーの場となる河川整備が少なく、人々が自由に集いふれあえる拠点の整備や散策路、堤防を緩傾斜にするなどの親水性が向上する整備が望まれている。

#### <自然環境>

- ・河川、水路、水田といった水域の連続性の中で生活しているアユモドキなどの貴重な生物の生息・生育環境を保全、創出する必要がある。



河川と街のアクセス整備が不十分



地域の拠点となる河川空間が不足



支川など水域の連続性が悪化